

# 「生命のがん教育」を実施しました

(平成28年度1学期分)

平成28年度1学期は14校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

## ◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

## ◆授業風景



(井手町立井手小学校)



(京丹後市立久美浜中学校)



(京都府立北桑田高等学校美山分校)

## ◎小学校 (6校)

実施日	実施校	学年	担当講師※
5月14日(土)	亀岡市立詳徳小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
6月22日(水)	福知山市立美河小学校	6年	福知山市民病院 副診療部長・外科医長 川上 定男
6月27日(月)	井手町立井手小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
7月8日(金)	木津川市立相楽台小学校	6年	京都山城総合医療センター 呼吸器外科 部長 伊藤 和弘
7月13日(水)	京丹波町立竹野小学校	5、6年	公立南丹病院 副院長 山岡 延樹
7月19日(火)	精華町立精華台小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩

## <児童の感想>

- ◇ 命は大切なものだと改めてわかったし、これからも「がん」にならないような予防をして命を大切にしていきたいです。
- ◇ 父がたばこを吸っているので、ぜひ言ってあげたいし、たばこをやめてもらいたいと思いました。
- ◇ 身近な人が「がん」になったことはないけれど、大切なのは検診に行くことと、早く見つけることだと感じたので、もし母や父がそういう検診に行っていなかったら、知らせてあげたいと思いました。
- ◇ 日本人は「がん」で亡くなる人が多いので、病気を治すためにいろいろな努力をしていることがわかりまし

た。でも、まずは自分自身で生活を見直すことが一番「がん」を予防する方法だと思いました。

- ◇ 「がん」という病気のことをより詳しく知ることができました。「がん」がどのようにしてできるのかなど質問形式でわかりやすかったです。

◎中学校（3校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
6月29日(水)	八幡市立男山中学校	3年	京都第一赤十字病院 消化器外科 副部長 窪田 健
7月5日(火)	精華町立精華中学校	2年	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 外科 医師 高岸 智子
7月7日(木)	京丹後市立久美浜中学校	3年	京都府立医科大学附属北部医療センター 副病院長 落合 登志哉

<生徒の感想>

- ◇ 今日の授業を受けて、もっと一日一日を大切に生きようと思いました。つい忘れてしまいがちですが、今だからできることがたくさんある中で何もしないで過ごすのはとてももったいないことだと気がつきました。
- ◇ 私の父はたばこを吸い、お酒も飲み、ご飯も味の濃いものばかり食べているから、いつ「がん」なるか分からないので正直言ってとても怖いです。だから、せめてたばこを吸わないようにしてほしいです。
- ◇ 小学校や中学校でも命の授業や「がん」の授業は受けてきましたが、今回の授業で改めて命の大切さや「がん」という病気の恐ろしさを感じることができました。たばこを吸わない人と吸っている人で肺の汚れ方が、あれほど違うのだと思いました。
- ◇ 中学生で、たばこや「がん」の話を知ると、小学生のときより重く他人事ではないと思うことができました。やはりこの予防の学習を受けることは、とてもありがたいです。自分も予防をこころがけたいと思います。
- ◇ 「がん」は怖い病気といったイメージしかありませんでした。でも今日の授業でどのような病気なのか、予防法はあるのかなどを詳しく学ぶことができました。

◎高等学校（5校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
5月30日(月)	京都廣学館高等学校	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
6月8日(水)	京都府立清明高等学校	1年	京都府立医科大学 講師 半田 修
6月27日(月)	京都府立東舞鶴高等学校 浮島分校	1年	舞鶴医療センター 外科系診療部長 山下 哲郎
7月12日(火)	京都府立北桑田高等学校 美山分校	全学年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 榎村 敦詩
7月13日(水)	京都府立鴨沂高等学校 定時制	全学年	京都大学医学部附属病院 内視鏡部 助教 宮本 心一

<生徒の感想>

- ◇ 「がん」についての知識をしっかりとって、正しい生活習慣・食生活をしようと思います。大人になっても、たばこを吸わない。吸っている人の煙を吸わない。お酒を飲み過ぎないようにする。また「がん」の早期発

見のために検査を受けようと思いました。

- ◇ 「がん」になった人の話は、とてもリアルで、身体に不調が出ても病院に行かなかった気持ちとかは自分と重なるところがあるなと思った。病院は好きじゃないけれど、自分や家族、友達とかに迷惑をかけたくないので、行かないといけないときはしっかり行こうと思った。
- ◇ 私の中で「がん」は本当に怖い病気という考えが強いです。がんは治る病気ではないと思っていましたが、経験者のお話を聞いてから思ったことは、やはり早期発見だなということです。私のおじいちゃんも喉頭がんに2年前になって、今声帯がありません。おじいちゃんは食べることとアルコールが大好きで、自分でもほどほどにしたら良かったと言っていました。私も生活習慣を見直して「がん」と無縁の生活をおくりたいと思います。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL : 075-414-4766 電子メール : [kentai@pref.kyoto.lg.jp](mailto:kentai@pref.kyoto.lg.jp)